

ワイススクランブル

国連委、慰安婦問題で 4年ぶり対日勧告

日本主張受け入れず

「元慰安婦への適切な相談なし」

パリ発のニュースである。

国連の人種差別撤廃委員会は2018年8月30日、日本に対する報告書を発表した。

《慰安婦問題をめぐって日本政府に「被害者中心のアプローチによる恒久的な解決」の勧告である。

2015年の日韓合意で「最終的かつ不可逆的解決」を確認したという日本政府の主張を認めなかったわけで、「何もわからず」「調査もせずに思い込み」だけで判断する輩の意見など聞く必要はない。

こいつらは人権差別を食物にしてい

るプロのゴロツキなのだから、アメリカ大統領のように「国連分担金を出すのは止める」と脅せばよいだけの話。

こういうゴロツキは甘い顔をするにつけあがる性癖をもつ。

報告書は日本政府に対し、「恒久的な解決」には、韓国だけでなく「すべての国籍」の慰安婦も含め、日本が女性に対する人権侵害の責任を受入れるよう勧告した、とする。

しかもそのうえ元慰安婦や家族への適切な措置を含め、解決策を今後、同委員会に報告することも求めた、という。



記者会見する国連人種差別撤廃委員会の対日審査担当、ボシュイ委員(左端)ら



8月15日、ソウル鍾路区旧日本大使館前で開かれた「第6回世界日本軍慰安婦メモリアルデー」を迎え、世界連帯集会第1348回定期水曜集会以、出席者たちがプラカードを持ってスローガンを叫んでいる

報告書はまた、日韓合意をめぐる日本の説明に「留意する」としたうえで、日本の対応は「元慰安婦への適切な相談がなく、軍による人権侵害への明確な責任提示をしていないという報告がある」と懸念を表明した。

分担金を止められるのが怖いのか？日本の説明に「留意する」としているが、《日本の対応は「元慰安婦への適切な相談がなく、軍による人権侵害への明確な責任提示をしていないという報告がある」と懸念を表明した。》と非難している。

ろくに調査もしないで、よくもこれだけデタラメを並べられるものだ。

「情報の発信元を明らかにしろ!!」と抗議すべきだ。

国連の人種差別撤廃委員会はジュネーブで開かれ、対日勧告は14年以来、4年ぶり。

今回の勧告は、8月16、17日の人種差別撤廃委員会による対日審査を踏まえて行われた。

日本側はこの審査会合で、日韓合意について「両国が、多大な外交努力の末に合意に至った。この問題を次の世代に引きずらせないことが重要だ」と意義を主張。国連の潘基文（パン・ギムン）事務総長（当時）も、この合意を歓迎したことを説明したが、委員から「政府間合意は問題解決にならない」などの反論が出ていた。

「分かった」国連分担金を出すのは「もう止めよう」じゃありませんか？

国連の人種差別撤廃委員会は学識者ら18人の委員で構成。

勧告に法的拘束力はない。